

(有)ブレス(広告業・高山市)

「全社員フレックスタイム」とリモート環境整備で、柔軟な働き方と残業削減、人材確保を実現

- ・ コアタイム無しのフレックスタイムを導入し、全社員が勤務時間を自由に調整できる柔軟な働き方を実現
- ・ モバイルパソコンの支給やリモートワークの導入で、時間の制約がある社員も戦力に
- ・ チャットツール活用や積極的な声掛けでコミュニケーションを強化し、意思決定の迅速化と会社としての組織力を確保

飛騨地域で各戸配布されているフリーペーパーの発行を主に手掛ける(有)ブレス。同社には悩みがありました。

「フリーペーパーの発行という業務の特性上、営業先の都合で夜に打合せがあったり、締切前は一時的に業務量が増大するなど、定時の就業時間を設定すると、残業がどうしても増えてします。社員の健康や子育て中の社員の家庭事情などを考慮すると、もう少し柔軟に勤務時間を設定できないかと考えていました」と三島崇代表取締役は当時のことを振り返ります。



(有)ブレスが手掛けるフリーペーパー

「全社員フレックスタイム」を試行的に導入

折しもコロナ禍となり、出勤者を制限せざるを得なくなった時、「働く時間も場所も柔軟にできないか」と三島代表は改めて考えました。

そこで、まず取り組んだのが、会社としての定時が無い「全社員フレックスタイム」の導入です。これは、コアタイム（必ず勤務しなければならない時間帯）を設けず、1か月の総労働時間だけ決めて、その中で毎日何時間働くかは各自が決めるというものです。これによって、夜の打合せが長引いた時は翌日の出社時間を遅くしたり、子どもを迎えに行くために少し早く帰るなど出退勤がフレキシブルにできるようになりました。

導入当初は不安も、試行後のアンケートでは継続を望む声が多数

「全社員フレックスタイム」導入にあたって、「上手く会社は回るのだろうか」「社員が時間にルーズになってしまうのではないか」といった不安もあり、対象を営業職に絞るなどの意見もありましたが、「まずは1年間やってみよう」ということで、管理職も含めて、令和5年から全社員一斉に取組を始めました。

そして、1年後、社員にアンケートを取ったところ、「とても働きやすくなつた」「会社が制度を導入してくれて、本当にありがたかった」という声が圧倒的に多く、以後も「全社員フレックスタイム」を続けることになりました。

リモートワークを活用し、短時間勤務の方も戦力に



モバイルパソコンがあれば
どこでも働くことが可能に

その後、社員にモバイルパソコンを支給し、リモートワークも導入。フレックスタイムと組み合わせて働くことも可能にし、より一層働きやすい環境を整えました。

また、子育て中の方など、1日5～6時間の短時間勤務の方も採用し、リモートワークも有効活用しながら、時間に制約のある方を会社の戦力としています。

意識的にコミュニケーションを強化し、意思決定の迅速さと組織力を確保

一方で、皆が同じ時間に同じ場所で働く機会が増え、会議など皆で意思決定しないといけない場面を作りにくくというデメリットはあります。

そこでビジネス用のチャットツールで出退勤の管理や連絡を取り合ったり、職場に出勤した際は積極的に声掛けするなど、意識的に社員間のコミュニケーションを取るようにして、意思決定の迅速さや会社としての組織力を保つ工夫をしています。

社員の時間に対する意識も大きく変わる

これらの取組を進めた結果、悩みの種であった残業を大幅に削減できるようになったほか、社員の時間に対する意識も大きく変わりました。

「これまで定時があって、残業前提で仕事をしていた社員も、時間を意識して働くように変化してくれました」と三島代表は話します。今では、「全社員フレックスタイム」に興味を持って、入社を希望する方も増え、人材確保においても同社の武器になっています。

今後も社員の働きやすさと会社としての組織力のバランスを取りながら、より働きやすい会社を目指しています。



「全社員フレックスタイムの他、様々な「働き方」をデザインしていきたい」と三島社長

【従業員の声】

2人の子育てをしていて、保育園の迎えなどもあるので、定時の無いフレックスタイムで働けるのは、本当にありがとうございます。

【(有) ブレス】 (<https://www.bless1.com/>)

所在地：高山市山田町318-1

従業員：18名（うち正社員15名、パート3名）

設立：平成11年

（令和8年1月末時点）